

平成26年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年9月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 丸千代山岡家

コード番号 3399 URL <http://www.yamaokaya.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山岡 正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 成田 弘之

TEL 029-896-5800

四半期報告書提出予定日 平成25年9月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第2四半期の業績(平成25年2月1日～平成25年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第2四半期	4,235	△2.2	△10	—	7	—	△165	—
25年1月期第2四半期	4,329	6.5	△57	—	△38	—	△81	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第2四半期	△204.44	—
25年1月期第2四半期	△100.55	—

当社は、平成25年2月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年1月期第2四半期	4,646	1,054	22.5	1,290.62
25年1月期	5,119	1,234	24.0	1,513.03

(参考) 自己資本 26年1月期第2四半期 1,047百万円 25年1月期 1,227百万円

当社は、平成25年2月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
26年1月期	—	0.00	—	—	—
26年1月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年2月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

3. 平成26年1月期の業績予想(平成25年2月1日～平成26年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,695	△2.4	200	52.0	230	30.9	△44	—	△54.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年1月期2Q	823,000 株	25年1月期	823,000 株
② 期末自己株式数	26年1月期2Q	11,700 株	25年1月期	11,700 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年1月期2Q	811,300 株	25年1月期2Q	811,300 株

当社は、平成25年2月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8
4. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（平成25年2月1日から平成25年7月31日まで）におけるわが国の経済は、現政権によるアベノミクスに伴う円高の是正や株価上昇など、景況感は徐々に改善され、明るい兆しが見られたものの、海外経済の下振れによる影響の懸念などもあり、先行きが不透明な状況にあります。

外食産業におきましては、電気料金の上昇や消費税増税への動きなどから、消費者の防衛意識による低価格指向などにより、節約志向は高まり個人消費は低迷する一方、小麦などの原材料価格の高騰により厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社では引き続き既存店の営業力強化に努めております。期間限定メニューの定期的実施、モバイルコンテンツの活用による販売促進策、社内プロモーションによる従業員のモチベーションアップ及びそれに伴うQSCの更なる向上等により売上計画の達成に取組み、収益力強化に努めております。しかしながら、一部FC業態においては、他社との競合が激しさを増しており、大幅な売上減少となりました。

コスト面につきましては、原価は今後の原材料価格の上昇を見据えて、引き続き厳しいロス管理を行っております。また、ワークスケジュール管理による人件費の厳格なコントロールを継続しております。更に今後の電気料金の上昇を抑制するための施策を検討及び実施しております。その他、店舗管理コストも徹底的な効率化を図りました。

なお、当第2四半期会計期間は新たな出店をしておりません。また、山岡家4店舗、FC店舗1店舗の閉店を行ったことにより、当第2四半期末の店舗数は132店舗となりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は4,235,237千円（前年同期比2.2%減）、経常利益は7,482千円（前年同期は38,883千円の経常損失）となりました。四半期純損失については、特別損失において、山岡家の閉店や既に開示しておりますとおり、FCの大阪王将業態撤退に伴う店舗閉鎖損失・減損損失など252,287千円が発生したことにより、165,860千円（前年同期は81,575千円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における財政状態は、総資産が4,646,413千円と前事業年度末と比較して473,117千円の減少となりました。資産の増減の主な内訳は、現金及び預金63,087千円の減少、有形固定資産411,877千円の減少、敷金及び保証金51,129千円の減少などであります。負債は、3,592,204千円と前事業年度末と比較して292,363千円の減少となりました。負債の増減の主な内訳は、買掛金44,760千円の増加、短期借入金66,668千円の増加、1年以内返済長期借入金41,788千円の減少、長期借入金241,942千円の減少であります。純資産は、前事業年度末と比較して180,754千円減少いたしました。この結果、当第2四半期会計期間末における純資産は、1,054,208千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末と比較して81,087千円減少し、231,473千円となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動により得られた資金は、210,328千円（前年同期比6.6%増）となりました。これは主に、税引前四半期純損失244,488千円に対して減価償却費が225,126千円、減損損失が190,362千円となったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、15,142千円（前年同期比80.2%減）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が18,000千円、有形固定資産の取得による支出が18,819千円あったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、276,273千円（前年同期比112.9%増）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が533,730千円に対して、短期借入金の増加が66,668千円、新規の長期借入れによる収入が250,000千円あったことなどによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当期の予想につきましては、閉店や一部FC業態撤退に伴う特別損失の計上などにより、前回発表（平成25年3月8日）の通期業績予想を修正いたしました。詳しくは本日発表の「平成26年1月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び平成26年1月期業績予想の修正、並びに特別損失発生に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算方法）

税金費用については、四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前当期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 1 月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年 7 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	345,560	282,473
店舗食材	141,673	120,525
貯蔵品	13,805	12,834
前払費用	95,831	96,105
繰延税金資産	5,883	96,542
その他	12,426	4,288
流動資産合計	615,180	612,769
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,511,453	2,189,698
構築物（純額）	296,681	266,339
土地	337,516	337,516
建設仮勘定	—	6,468
その他（純額）	268,427	202,179
有形固定資産合計	3,414,079	3,002,201
無形固定資産		
その他	36,749	33,925
無形固定資産合計	36,749	33,925
投資その他の資産		
投資有価証券	12,248	15,396
敷金及び保証金	771,719	720,589
保険積立金	78,017	82,080
繰延税金資産	76,496	75,596
その他	115,039	103,853
投資その他の資産合計	1,053,521	997,516
固定資産合計	4,504,349	4,033,643
資産合計	5,119,530	4,646,413

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 1 月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年 7 月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	137,141	181,902
短期借入金	—	66,668
1年内返済予定の長期借入金	1,012,952	971,164
未払金	380,357	384,821
未払法人税等	51,549	20,606
リース債務	86,147	81,876
その他	78,551	46,124
流動負債合計	1,746,699	1,753,164
固定負債		
長期借入金	1,960,137	1,718,195
リース債務	146,615	98,278
資産除去債務	868	1,075
その他	30,247	21,491
固定負債合計	2,137,867	1,839,040
負債合計	3,884,567	3,592,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,647	291,647
資本剰余金	272,747	272,747
利益剰余金	683,416	501,330
自己株式	△17,550	△17,550
株主資本合計	1,230,260	1,048,174
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,740	△1,092
評価・換算差額等合計	△2,740	△1,092
新株予約権	7,442	7,126
純資産合計	1,234,962	1,054,208
負債純資産合計	5,119,530	4,646,413

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)
売上高	4,329,394	4,235,237
売上原価	1,085,199	1,084,775
売上総利益	3,244,194	3,150,462
販売費及び一般管理費	3,301,738	3,160,984
営業損失(△)	△57,543	△10,521
営業外収益		
受取利息	3,445	3,214
受取保険料	10,349	8,773
受取賃貸料	15,438	15,279
受取手数料	11,663	11,156
その他	5,100	7,636
営業外収益合計	45,997	46,060
営業外費用		
支払利息	27,049	25,839
その他	287	2,216
営業外費用合計	27,337	28,055
経常利益又は経常損失(△)	△38,883	7,482
特別利益		
新株予約権戻入益	140	315
特別利益合計	140	315
特別損失		
減損損失	25,822	190,362
固定資産除却損	1,250	208
店舗閉鎖損失	48,574	61,716
特別損失合計	75,647	252,287
税引前四半期純損失(△)	△114,390	△244,488
法人税等	△32,814	△78,628
四半期純損失(△)	△81,575	△165,860

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△114,390	△244,488
減価償却費	255,576	225,126
減損損失	25,822	190,362
店舗閉鎖損失	48,574	61,716
新株予約権戻入益	△140	△315
受取利息及び受取配当金	△3,722	△3,525
支払利息	27,049	25,839
固定資産除売却損益 (△は益)	1,250	208
売上債権の増減額 (△は増加)	190	—
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△934	22,119
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	4,309	11,105
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△11,083	△5,435
仕入債務の増減額 (△は減少)	47,203	44,760
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△30,408	△46,986
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	1,230	△2,868
小計	250,526	277,617
利息及び配当金の受取額	352	389
利息の支払額	△27,193	△25,350
法人税等の支払額	△26,322	△42,328
営業活動によるキャッシュ・フロー	197,363	210,328
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18,000	△18,000
定期預金の払戻による収入	24,010	—
有形固定資産の取得による支出	△62,445	△18,819
有形固定資産の売却による収入	—	2,000
無形固定資産の取得による支出	△18,714	△2,348
投資有価証券の取得による支出	△603	△600
その他	△565	22,626
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,318	△15,142
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000	66,668
長期借入れによる収入	475,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△573,819	△533,730
リース債務の返済による支出	△40,597	△42,890
配当金の支払額	△40,339	△16,321
財務活動によるキャッシュ・フロー	△129,755	△276,273
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,711	△81,087
現金及び現金同等物の期首残高	250,780	312,560
現金及び現金同等物の四半期末残高	242,069	231,473

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社は飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

4. 補足情報

地域別売上高の状況

	前第2四半期 (平成25年1月期 第2四半期)			当第2四半期 (平成26年1月期 第2四半期)			(参考) 平成25年1月期		
	店舗数	売上金額 (千円)	構成比 (%)	店舗数	売上金額 (千円)	構成比 (%)	店舗数	売上金額 (千円)	構成比 (%)
ラーメン山岡家									
北海道	33	894,310	20.6	33	937,303	22.1	33	1,886,195	21.1
茨城県	16	578,497	13.4	16	561,817	13.3	16	1,189,730	13.4
栃木県	8	269,633	6.2	8	269,090	6.4	8	552,357	6.2
埼玉県	10	399,198	9.2	10	406,775	9.6	10	823,119	9.2
千葉県	13	465,336	10.7	13	447,017	10.6	13	947,266	10.6
群馬県	6	197,590	4.6	6	203,530	4.8	6	410,089	4.6
東京都	2	74,388	1.7	2	61,099	1.4	2	152,564	1.7
宮城県	3	102,903	2.4	3	106,619	2.5	3	211,382	2.4
静岡県	7	241,310	5.6	7	227,969	5.4	7	491,209	5.5
福島県	3	70,529	1.6	3	74,574	1.8	3	146,306	1.6
神奈川県	4	124,847	2.8	4	120,955	2.9	4	256,540	2.9
岐阜県	2	43,830	1.0	2	43,434	1.0	2	89,974	1.0
山梨県	3	100,624	2.3	3	102,006	2.4	3	210,502	2.4
山形県	1	28,916	0.7	1	27,440	0.6	1	58,037	0.7
愛知県	5	149,722	3.5	5	148,204	3.5	5	308,005	3.5
三重県	1	32,796	0.8	1	32,097	0.8	1	67,056	0.8
長野県	3	60,980	1.4	3	55,786	1.3	3	127,063	1.4
岩手県	1	26,603	0.6	1	26,473	0.6	1	55,222	0.6
秋田県	1	21,403	0.5	1	22,504	0.5	1	44,820	0.5
青森県	1	20,642	0.5	1	20,234	0.5	1	43,356	0.5
富山県	1	15,482	0.4	1	3,193	0.1	1	28,766	0.3
石川県	1	25,904	0.6	1	22,736	0.5	1	51,064	0.6
兵庫県	1	25,759	0.6	1	21,149	0.5	1	49,936	0.6
大阪府	1	26,232	0.6	1	25,104	0.6	1	52,347	0.6
京都府	1	26,415	0.6	1	15,941	0.4	1	48,412	0.5
福岡県	1	20,528	0.5	1	23,083	0.5	1	44,079	0.5
熊本県	—	—	—	1	18,754	0.4	1	20,333	0.2
その他	9	285,002	6.6	7	210,337	5.0	11	543,602	6.1
総合計	138	4,329,394	100.0	137	4,235,237	100.0	141	8,909,344	100.0